

令和6年度 第2回公立学校共済組合岩手支部運営審議会議事録(要旨)

1 日 時 令和7年2月7日(金) 10:00~11:30

2 場 所 サンセール盛岡 1階「エメラルド」

3 出席者

(1) 運営審議会委員(10名中 本人出席8名 代理出席1名)

飯 岡	竜太郎	委員	(代理 村田 浩隆 氏)
泉 澤	毅	委員	
小 田	美香子	委員	
坂 本	美知治	委員	
佐 藤	工	委員	
神久保	貴 幸	委員	(欠席)
高 橋	克 典	委員	
三 田	正 巳	委員	
村 上	智加子	委員	
柳 田	陽 一	委員	

(2) 支部職員及び盛岡宿泊所職員(14名)

佐 藤	一 男	支部長
大 森	健 一	副支部長
中 川	友 治	事務局長
高 橋	茂 樹	盛岡宿泊所支配人

(ほか支部職員8名、盛岡宿泊所職員2名)

4 会議次第

(1) 開会(出席委員の報告、委員9名(うち代理出席1名))

(2) 支部長挨拶

(3) 議長選出

(4) 報告

報告第1号 令和6年度公立学校共済組合岩手支部の変更予算について

報告第2号 令和6年度盛岡宿泊所運営状況等について

報告第3号 データヘルス計画に基づく令和6年度保健事業実施状況について

(5) 議事

議案第1号 令和7年度公立学校共済組合岩手支部事業計画及び予算について

議案第2号 令和7年度公立学校共済組合盛岡宿泊所事業計画及び予算について

(6) その他

(7) 閉会

5 議事録

(1) 支部長挨拶（要旨）

委員の皆様には、お忙しい中運営審議会にご出席いただき、感謝申し上げます。

さて、国では、少子高齢化や人口減少等の影響により社会構造の変化に対応するため、共済事業の運営にも大きな影響を及ぼすであろう全世代対応型の持続可能な社会保障制度の構築に向けた改革に取り組んでいる状況である。

このような状況の中で、公立学校共済組合においては、的確かつ満足度の高い事業を実施することにより、組合員が心身ともに健康で安心して職務を遂行できるよう、様々な課題の解決に向けて本部及び支部一丸となって取り組んでいる。

保健事業については、定期健康診断やレセプトデータを活用したデータヘルス計画を策定し実施してきているところであり、令和6年度から第3期データヘルス計画に基づく事業を展開している。この第3期計画では、重点取組事項を設定し、それに対する共通の評価指標を導入した。各項目の目標値達成に向けて、組合員及び被扶養者の健康の保持増進及び疾病予防につながる効果的な事業を実施していきたいと考えている。

また、盛岡宿泊所については、組合員の皆様から、多大な御支援を頂いているところである。しかしながら依然コロナ禍前には回復しておらず、大変厳しい運営状況が続いている。

今後においても、安全・安心な施設、心あたまる優良なサービスを提供する施設として、一層のサービス向上に向け、支配人を中心に、支部と施設が力を合わせて、経営改善に努めていく。委員の皆様におかれましても、引き続き、御理解と御支援をいただきますようお願い申し上げます。

本日の審議会においては、今年度の「岩手支部の変更予算」他2件を報告するほか、議事といたしまして、令和7年度の「事業計画及び予算」についてお諮りするので、忌憚のない御意見を頂戴し、御審議いただきますとともに、原案に御賛成いただきますようお願いする。

以上、簡単ではあるが、開会の挨拶とする。

(2) 議長選出

通例により会長が議長に選任された。

[議長]

運営審議会だけでなく様々な会に参加するようになり、ある程度分かってきたところであるが理解が難しいところもある。しっかりと審議委員の役割を果たすためにも、委員の皆さんには積極的に質問していただければと思う。

(3) 報告

【報告第1号】令和6年度公立学校共済組合岩手支部の変更予算について

資料に基づき、事務局長が説明した。

—意見・質疑—

[委員]

4頁保健経理の支出について、特定健診費と人間ドック事業費の減と説明があったが、理由を確認したい。予定数に対して申込者が少なかったということか。

もう1点は、宴会場のLED賃貸借契約について確認したい。

[事務局長]

特定健診については予算の対象者が、任継、被扶養者であり、ある程度受診者の見込みを積んでいたが、最終的な受診者が減ったということである。人間ドック事業費については、40歳以上の人間ドックについて確保していた定員より13人減であったため減額となっているもの。ただし、39歳以下の定員で枠をカバーしたため、人間ドックについては定員の枠全員実施することができている。

LEDの契約については、現在工事の最中である。1月に3階の宴会場については既に実施している。この会場は今月下旬に工事の予定である。契約実績によって減となっているもの。

[委員]

5頁の脳ドックの増減について、検査料金の増との説明であるが、人数的な数の増減については把握しているか。特定健診のように人数が減っているのか、人数が減っているものの料金の増加による予算額の増加なのか知りたい。このような検診の重要性を感じているため確認したい。

[事務局長]

脳ドックについては、定員565名に対し希望者1077名でおよそ1.9倍の倍率であった。定員分はしっかり実施しているもの。一部の機関で検査料金が増加したことによる増額である。

【報告第2号】令和6年度盛岡宿泊所の変更予算について

資料に基づき、盛岡宿泊所支配人が説明した。

—意見・質疑—

[委員]

経費削減を目的としたテーブルクロスとはどのようなものか。

[支配人]

リネンしなくてよい加工のテーブルクロスを購入した。通常のテーブルクロスは、クリーニング業者と契約し、クリーニング代を含めリース契約となっている。これをなくし、自社購入することで、徐々にランニングコストが減っていくものと見込まれる。今年度から一部変えているもの。

[議長]

盛岡宿泊所の利用では、盛岡近郊の学校での宴会等の積極的利用を強くお伝え願いたい。

【報告第3号】データヘルス計画に基づく令和6年度保健事業実施状況について

資料に基づき、事務局長が説明

—意見・質疑—

[委員]

岩手県は自殺率1位である。相談者はなかなか相談できないと思われるため、特定健康診査のように、希望者ではなく必ず全員対象とした心とからだに関連したプログラムを組み

込むことは可能であろうか。学校単位での取組となるようなもの。共済事業ではなくてもいいのだが、メンタルについて「こうしていけばいいよ」というようなパンフレットでもあればよいと思う。

〔事務局長〕

職場単位で、心身の健康づくりに関する研修会を開催する際の支援事業として、心と体の健康づくり支援事業がある。講師は共済の直営病院から選定し、心理専門職の派遣事業も行っている。なかなか、周知が足りていないところもあるかと思うが、こういう取組を行っていることを様々な機会を捉え周知していきたい。

〔委員〕

精神疾患は自身で認識するのが難しい部分と思う。啓発に力を入れてほしい。軽度のうちの受診対策の重要性を感じている。そこで職場単位での労働安全衛生管理の意識づけ、体制作りの啓発をして欲しい。衛生委員会等の啓発サポートが欲しい。

指定年齢 35 歳の人間ドックについて、未受診者は 40 歳までに後追い受診が可能と説明があったが、40 歳までにどれくらい受診できているものか。その後を追って数を管理しているか。

先の委員の発言に関連して、メンタルの部分が指定年齢の人間ドックのプログラムに含まれていれば面談までは難しいかと思うが、啓発も進められるのではないかと考える。

〔事務局長〕

メンタルヘルス対策については、まず予防が第一である。予防的対策としては、教職員向けのセミナー等実施しているところであるが、相談体制等の充実を図っていきたい。

労働安全衛生体制については、毎年県内 4 会場で小中学校の管理監督者を対象とした研修会を開催しており、体制整備は進んできている。しかし、衛生委員会が開催できていないという声は聞いているところである。全国の労働安全衛生管理体制の事例集に花巻市の湯口小学校の取組が紹介されたところである。県内でのこういった好事例を様々な機会を捉え情報提供していきたい。

35 歳人間ドックの後追い受診者数については、手元にデータを持ち合わせていない。

〔委員〕

教職員は多忙のうえ、長距離通勤の人も増えている。家にいる時間が短くなっているように感じている。メンタルヘルスの悪化の原因に睡眠時間の減少も考えられると思う。いろいろな講座を開催いただいているが、セミナーなどでは不健康な状態から「こうするといい」というような「何かを付け加える」講座が多いので、何かを引くような、例えば「睡眠の質向上のために、ただひたすら睡眠する講座」を検討してほしい。少なくとも 2 泊くらいで検討してほしい。1 泊 2 日ではだめ、中日が必要である。

〔委員〕

ロックスインデックス検査は 35 歳と 44 歳が対象となっているが、50 歳代も含まれるとありがたいと思う。

〔事務局長〕

ロックスインデックスは、第 2 期データヘルスを策定した際の新規事業であった。10 年後の脳梗塞・心疾患の発症リスクを評価するものである。この間、定年延長もあったため今後

の検討とさせていただきたい。

[委員]

メンタルヘルスについてであるが、盛岡市の小中学校では、公立学校共済組合のストレスチェックを活用している。この結果は本人へのフィードバックとなっているので、所属の管理者への提供もあれば良いと思う。県立学校や他市町村においても安価で活用可能であればいい、さらに管理者へ情報提供いただけるといいのではないかと考える。検討いただければと思う。

労働安全衛生委員会の開催については、学校でも出来上がってはきていると感じているが、後回しになりがちであるので、「年間2回はやりましょう」などと決めて、報告をあげてもらえると好事例などの紹介も進み活性化されるのではないかと参考までに検討願いたい。

[事務局長]

ストレスチェックの目的としては、労働者自身のストレスへのセルフケア、職場環境の改善が目的である。メンタルヘルス不調者の発見を目的としているものではないため、本人の同意なく管理職への情報提供は禁止されている。これは国からも示されているものである。県教委においては、職場のストレスの傾向を集団分析し要因を探り、ストレス傾向が高いところには保健師を派遣し助言を行っている。小中学校における集団分析については、各市町村によって温度差があることは伺っている。管理職からすると、メンタル不調者の情報は重要な情報であるとは思われるが、個人情報の観点からそれはできないものである。ストレスチェックの結果について本人から話ができれば対応いただければと思う。

衛生委員会の開催については、学校現場でやりやすいよう好事例を紹介するなどしていきたい。

(4) 議事

【議案第1号】令和7年度公立学校共済組合岩手支部事業計画及び予算について
資料に基づき、事務局長が説明した。

—質疑・応答—

[委員]

宿泊利用補助の予算について、利用されない場合や予算額に到達しない場合の残額はどのような扱いとなるか。

[事務局長]

執行残となった予算は、翌年度に繰り越すもの。

[委員]

特定健診等事業の配分が大幅に減額された理由は何か。

[事務局長]

特別配分については、例年執行残が多いことが課題となっているが、令和7年度はこれを解消するため、制度改正等により精緻に見込めなかった令和4年度からの短期組合員数増の影響を実態に即して算定したこと、また、特定保健指導委託費の単価抑制等の見直しを行ったことにより、前年度比で大幅な減額となったということを本部から聞いている。

〔議長〕

会食利用をぜひ盛岡市内の学校は最低1回は利用していただきたい。

特定健康診査や特定保健指導も大事だが、働き方改革が最も大事だと考える。公立学校共済組合においても長時間労働の抑制の取組をお願いしたい。共済組合としても、基本方針、重点課題に盛り込む必要があると思う。長時間労働の抑制の県プランとマッチするように検討していただきたい。

原案のとおり承認となった。

【議案第2号】令和7年度公立学校共済組合盛岡宿泊所事業計画及び予算について

資料に基づき、盛岡宿泊所支配人が説明した。

—質疑・応答—

〔委員〕

2点ある。1点目は、会議の実施率、稼働率を教えてください。2点目は、先ほど支配人より盛岡市に観光客が増加しているとの説明があったが、観光客は、盛岡に来たら「冷麺」「わんこそば」などが食べたいのではないかと思う。1泊2食サンセールでの食事ではなく、「近隣の飲食店の夕食券つきプラン」を開発してはいかがか。

〔総務部長〕

会議室の稼働については、12月現在の累計となるが会議室、宴会場併せて10会場で36.5%であった。実際10会場すべてが埋まることはめったにない。今年度は4割以下であった。令和5年度は46%で、全会場を使って大型の試験会場としての利用があったためである。今年度は大型の利用がなかったため利用人数、売上、稼働率の減少となった。

飲食付き宿泊プランについては、検討させていただく。観光客増加で、飲食店東家も現在予約を取っていないとのこと、当日朝に並ばれた方への整理券配布での扱いとしている旨伺った。直近の全ての飲食店のことは伺えていないが、特定のお店については朝夕の整理券配布の取扱いの状況のみ把握している。ほかの近隣の飲食店にタイアップが可能か今後の課題とさせていただきます。

〔議長〕

資料の1頁3基本方針(1)のウについて「職域貢献事業『の』推進」とした方が理解しやすいと思う。

原案のとおり承認となった。

(5) その他

なし

(6) 閉会 (11:30)